



分科会 6 薬剤師の生涯学習元年—更なる自己研鑽へ JPALS

10月7日(日) 15:00～17:30 第8会場(オークラアクトシティホテル浜松 3F チェルシー I)

W-06-03

薬剤師に関する学会等の認定制度の現状と連携について

みやざきちやういちろう
宮崎長一郎

日本薬剤師会常務理事

日本薬剤師会は、この4月から生涯学習支援システム（JPALS）を稼働させることができ、参加者が徐々に増加している状況である。JPALSでは、現在、クリニカルラダーにおけるレベル5の過渡的認定を実施している。レベル5は、薬剤師業務を十分に実施するために必要な知識等が備わった薬剤師を対象として想定した認定である。現在は過渡的なものであるために、薬剤師歴や他の団体での認定を有している薬剤師も認定している。認定後は学習の計画と記録を残すJPALSのシステムで継続的な学習を実行していただければレベルダウンすることはない仕組みである。現在、日薬ではレベル5以上について、専門性も含めて検討しているところである。

ところで、日本では31の学会・団体が48の認定・専門薬剤師制度を有して活動している。この中には、薬剤師認定制度認証機構の認証を受けている制度とそうでないものもある。それ以外に、薬剤師が申請できる認定として、たとえば糖尿病療養指導士や医療情報技師などがある。専門性を認定する制度が23であり、その他はジェネラリストの認定となっている。専門を標榜した制度の場合の多くが、学会誌への論文発表や指導者がいる医療機関での研修が基礎にあり、その上で試験制度による認定を行うという手順である。

日本薬剤師会のJPALSは継続的な研修を実施するための支援ツールであるが、会員から専門性の認定なども要望されている現実もある。日本薬剤師会としても、会員の要望を考慮しつつ、他学会等との連携を図りながら検討を重ねているところである。本学術大会では、薬剤師を取り巻く認定制度の現状と他学会との連携に関して述べることをとする。